

特選講師情報

リストNo 15396

2026/01

講師派遣の **ブレンバンク** 株式会社

〒530-0055

大阪市北区野崎町6-7大阪北野ビル

TEL:06-6315-7591 FAX:06-6315-0506

担当者：大瀬 恵美

●講演会をする場合は

- ①講演時間は、標準90分です。
- ②講演企画料は、源泉税込み(単位万円)です。
- ③講演企画料には、消費税が別途必要です。
- ④実施の場合は、旅費(交通費・宿泊費)が必要です。
- ⑤※印は、旅費2名分が必要です。

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： **C**
BEST9

上げ潮派の論客(講演60分+質疑応答30分)

● これからの日本経済

高橋 洋一

嘉悦大学教授・(株)政策工房 代表取締役会長

1955年生まれ。東京大学理学部・経済学部卒業。80年大蔵省(現・財務省)入省。税務署長、証券局、理財局、官房金融検査部、資金企画室長、国土交通省へ出向、財務省関東財務局理財部長、経済財政諮問会議特命室兼務、2006年内閣参事官。“小泉・竹中改革”中核メンバーとして郵政民営化・道路公団民営化・政策金融機関一本化・公務員制度改革に尽力。07年“霞が関の埋蔵金”暴露で一躍脚光を浴びた。08年財務官僚退官、東洋大学経済学部教授就任。翌年退任。山本七平賞「さらば財務省！」で受賞。

(他のテーマ) ■ 日本経済では本当は何が起きているか
■ 地政学で今を読み解く



講演料： **B**
BEST9

揺れ動く国内外のタイムリーな話題をわかりやすく伝えます

● 緊迫する国際情勢と日本の課題

村田 晃嗣

同志社大学教授

1964年兵庫県神戸市生まれ。87年同志社大学法学部卒業。95年神戸大学大学院博士課程修了。この間、91～95年米国ジョージ・ワシントン大学留学。95年広島大学専任講師。96年読売論壇新人賞・優秀賞受賞。98年神戸大学博士。99年広島大学総合科学部助教授。アメリカ学会清水博賞・サントリー学芸賞受賞。2000年吉田茂賞受賞。朝日放送番組審議会委員。00年同志社大学法学部助教授。05年同教授。11年同法学部長。13年4月より1期16年3月まで学長。'25年7月より東京大学先端科学研究センター客員上席研究員。テレビ朝日『朝まで生テレビ』・読売テレビ『そこまで言って委員会NP』にパネリストとして不定期出演。

(他のテーマ) ■ 内政・外交に見る 今、期待されるリーダーシップ
■ トランプ政権と日本の課題



講演料： **B**
BEST9

事実認識の共有化を目指して講演を中心に活動中(会場での移動導線は禁煙必須)

● 地域力と地域経済再生の秘策

藻谷 浩介

(株)日本総合研究所 調査部 主席研究員

1988年東京大学法学部卒業。日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。コロンビア大学経営大学院派遣留学(MBA取得)。94年より(財)日本経済研究所調査局(派遣出向)。99年日本政策投資銀行地域企画部調査役、2007年より地域振興部参事役。09年より1年間DBCシンガポール(株)シニアアドバイザー兼シンガポール政府国際企業庁パートナー。10年より地域支援班参事役。'12年より特任顧問、および現職。内閣府地域再生本部「地域活性化伝道師」、中小企業庁「地域中小企業サポーター」など政府関係委員多数。著書に「デフレの正体」『ニッポンの地域力』ほか多数。

(他のテーマ) ■ 地域の未来をひらく視点～人口減少時代における、地域の課題！まちづくりの成功例
■ 「地域間格差」は本当に拡大しているのか



講演料： **B**
BEST9

温厚なイメージですが、講演会ではかなり熱弁！

● いま政治に求められるもの

橋本 五郎

読売新聞特別編集委員

1946年秋田県生まれ。1970年慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、読売新聞社入社。本社社会部をはじめ政治部、論説委員、政治部長・編集局次長を歴任。1999年から日本テレビ系列「ジバンクあさ6」「ズームイン!!SUPER!」でニュース解説を担当。2006年12月より現職。日本テレビ「スッキリ!」、読売テレビ「ウェークアップ!ふらす」、情報ライブ「マイな屋」にレギュラー出演。2014年日本記者クラブ賞受賞。主な著書として「心に響く51の言葉」「総理の覚悟」「総理の器量」「範は歴史にあり」「橋本五郎の『どうなる日本!』—政治・経済ここがポイント」など多数。

(他のテーマ) ■ 総理の器量～政治記者がみたリーダー秘話
■ どうなる日本！ 地方創生へのカギ

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： C
BEST9

「草食系男子」や「おひとりさま」という言葉を世に広め、テレビ・雑誌・講演などで活躍中
● 時代のトレンドを読み解き、ビジネスに活かす

牛窪 恵

世代・トレンド評論家 / 立教大学大学院 客員教授

東京生まれ。日大芸術学部卒業後、大手出版社入社。5年間の編集及びPR担当の経験を経て、フリーライターへ。雑誌やテレビの企画、執筆や企業PRに取り組む。2001年マーケティングを中心にを行う㈲インフィニティ設立。現在、『日経ビジネスオンライン』『日経消費ウォッチャー』ほか『プレジデント』『週刊ダイヤモンド』『AERA』などに連載、定期寄稿中。講演活動やTV・ラジオのコメンテーター出演を積極的に行なう。得意分野はトレンド、世代論、マーケティング、小売流通、ホテル、旅行関連。「おひとりさまマーケット」「草食系(男子)」は新語・流行語大賞に最終入賞。

(他のテーマ) ■ 地元の経営に役立つ！現代消費者の価値観とココロとは
■ イドキの若者(Z世代、ゆとり世代)の戦力を経営に活かすには？



講演料： B
BEST9

赤字企業を世界No.1へ導いた“経営の秘訣”とは？

● 変革する時代における成功法則

～タニタで学んだ世界一への“経営の秘訣”

谷田 昭吾

講演・研修講師/㈱コアウェル代表取締役社長

体脂肪計で世界一となり、社員食堂でも話題になった株式会社タニタの創業ファミリー。同社の営業・新規事業・新社立ち上げ、海外における役員経験を経て独立。父・谷田大輔氏の最も近くで、公私にわたってその経営学を学び、赤字企業だったタニタを成長させた「タニタの成功法則」を受け継いできた。2013年に書籍「タニタはこうして世界一になった」(講談社)をプロデュース。講演では父から学んだ経営学を客観的視点で語り継ぐと同時に、自身が学んできたポジティブ心理学の視点から「成功法則」をビジネスや日常生活で実践するための方法を伝えている。

(他のテーマ) ■ 健康経営 実践の極意～社員も会社も元気にする5つの法則
■ タニタ創業者が語る事業承継～何を守り、何を変革するのか



講演料： B
BEST9

「情報プレゼンターとくダネ！」の気象キャスターとしてお馴染み！

● ちょっと変かな？最近の天気～異常気象と気象災害への備え

天達 武史

気象予報士

1975年神奈川県生まれ。97年御茶ノ水美術専門学校卒業後、9年間ファレスに勤務。目の前が海だったため、天気や客数が大きく変化。過不足なく食材を発注する為に気象予報士を目指し、2002年7回目の挑戦で試験に合格。05年からフジテレビ系列「情報プレゼンターとくダネ！」の気象キャスターとして出演。天気の「天」に達人の「達」と書いて天達、災害を防ぐ使命を持って、天気の達人を目指し、分かりやすく、興味を持ってもらえるような天気予報が人気に。著書に『気象予報士天達流四季の暮らしと二十四節気の楽しみ方』『アマツさん、ネコが顔を洗うと雨って本当ですか？』など

(他のテーマ) ■ 天気の達人、天達と考える気候変動と地球の未来
■ 天気の達人、天達と考える“天気”と“防災”



講演料： B
BEST9

歴史は活用してこそ意義がある！

● 時代の変革期におけるリーダー・シップ

加来 耕三

歴史家・作家

1958年、大阪府生まれ。奈良大学卒業。新鋭な感性と現代に活かす史実の新しい断面を解析し、伝説や通説になった歴史のウソに鋭くメスを入れる作家・歴史家。奈良大学文学部研究員を経て著作活動に入り、講演活動のほかTV「英雄たちの選択(NHK BSプレミアム)」「先人たちの底力 知恵泉(ちえいず)(NHK Eテレ)」等、ラジオ「加来耕三の「歴史あれこれ」(全国のAMラジオ局12局)」等の番組監修・構成・出演。著書に『家康の天下取り 関ヶ原、勝敗を分けたもの』『日本史を変えた偉人たちが教える 3秒で相手を動かす技術』『読むだけで強くなる 武道家の金言』『戦国美女は幸せだったか』『リーダーは「戦略」よりも「戦術」を鍛えなさい』『加来耕三の感動する日本史』など多数。

(他のテーマ) ■ 歴史に学ぶ魅力あるリーダーとは
■ 戦国武将に知恵を学ぶ



講演料： B
BEST9

オール一本勝ちで五輪2連覇達成！ <60分講演+質疑応答>

● 夢を叶える思考力

～ポテンシャルの引き出し方

谷本 歩実

女子柔道 アテネ・北京オリンピック金メダリスト

1981年生まれ、愛知県出身。筑波大学卒業後、コマツ入社。女子柔道63キログラム級、アテネ・北京オリンピックで金メダルを獲得。大会史上初となるオール一本勝ちでの連覇となった。2010年引退後はコマツ柔道部のコーチを務める傍ら、栄養士の免許を取得。2013年3月から2年間JOC海外指導者研修でフランスへ留学し、現在、全日本柔道女子チームの特別コーチや、2020年東京オリンピック・パラリンピック組織委員会理事を務める。一児のママとしても活躍中。

(他のテーマ) ■ 金メダリストの思考回路
■ 私の柔道人生

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： B

現在は教鞭をとる傍ら、講演活動や自治体・グローバル企業のアドバイザー、顧問も務める

● 米中覇権競争と経済安全保障の展望

細川 昌彦

明星大学経営学部教授

1955年生まれ。77年東京大学卒業後、通商産業省に入省。83年「東京国際映画祭」を立ち上げる。85年山形県警本部刑務部長(警察への出向第1号)。98年通商政策局米州課長。01年スタンフォード大学客員研究員。ハーバード・ビジネス・スクールMP終了。貿易経済協力局貿易管理部長。03年中部経済産業局長(「グレーター・ナゴヤ」を提唱)。04年日本貿易振興機構ニューヨーク・センター所長。06年経済産業省を退官。06年(社)日本鉄鋼連盟常務理事。08年中京大学経済学部教授。09年より現職。著書に「メガ・リージョンの攻防」(東洋経済新報社)、「暴走トランプと独裁の習近平に、どう立ち向かうか?」(光文社)など。日経ビジネス電子版「細川昌彦の深層・世界のパーゲーム」連載中、産経新聞「正論欄」執筆メンバー。(他のテーマ) ■ 激化する米中対立に日本企業はどう向き合うか

- 地域のグローバル戦略



講演料： C

歴史の転換期に立ち会った元・外交官

● 大きく変わる世界情勢と日本の針路

田中 均

日本総研国際戦略研究所特別顧問

1947年京都市生まれ。1969年京都大学法学部卒業後、外務省入省。北米局北米二課長、アジア局北東アジア課長、英国国際戦略問題研究所研究員、在連合王国日本国大使館公使、総合外交政策局総務課長、北米局審議官、在サンフランシスコ日本国総領事館総領事、経済局長、アジア大洋州局長。2002年より政務担当外務審議官を務め、2005年8月退官。同年9月より(財)日本国際交流センターシニア・フェロー、2006年4月より東京大学公共政策大学院特任教授を兼任。2010年10月より現職。著書:『国家と外交』『外交の力』『プロフェッショナルの交渉力』等。

- (他のテーマ) ■



講演料： B

著書『未来の年表』の反響の大きさから、講演依頼が殺到している!

● 縮んで勝つ 人口減少日本の活路

河合 雅司

人口減少対策総合研究所 理事長/作家・ジャーナリスト

1963年愛知県名古屋生まれ。中央大学卒業。専門は人口政策、社会保障政策。内閣官房有識者会議委員、厚労省検討会委員、農水省第三者委員会委員などを歴任。2014年、「ファイザー医学記事賞」大賞を受賞。主な著作に「中国人国家ニッポンの誕生——移民栄えて国滅ぶ」(共著、ビジネス社)、『医療百論(2015)』(共著、東京法規出版)、『地方消滅と東京老化——日本を再生する8つの提言』(共著、ビジネス社)など。

- (他のテーマ) ■ ○○(県名)の未来年表——人口減少でこれから起きること
■ 「未来の年表」から読む○○(エリア名)圏——人口減少時代を勝ち残る



講演料： B

経済分野にも明るい 政治ジャーナリスト

● どうなる日本! 政局から政策へ

～最前線現場から～

末延 吉正

政治ジャーナリスト、東海大学客員教授

1954年山口県生まれ。早稲田大学卒業、慶應義塾大学大学院修了。79年テレビ朝日入社、特派員として米国・中東・アジア・アフリカなど70か国取材。『ニュースステーション』デスク、『朝まで生テレビ』『サンデープロジェクト』プロデューサー、経済部長、政治部長などを経て'04年退社、ジャーナリストとして独立。立命館大学客員教授、中央大学特任教授、東海大学教授を経て、'25年東海大学平和戦略国際研究所(SPIRIT)客員教授。永田町霞が関の豊富な情報源をもとにした政局解説のほか、経済や紛争地の取材体験に基づく日本外交論も得意とする。テレビ朝日『ワイド!スクランブル』レギュラーコメンテーター、BS朝日『日曜スクープ』『アンカー』他、政局解説で随時メディア出演。

- (他のテーマ) ■ 激動する世界と日本の針路



講演料： B

IT業界屈指のプレゼン講師

● 生成AIの最前線、大きな可能性とリスクを理解し活用する術

西脇 資哲

日本マイクロソフト(株)エバンジェリスト・業務執行役員

1969年生まれ、岐阜県出身。90年代から企業システム、データベース、インターネットビジネスに関与。96年日本オラル入社。2009年日本マイクロソフト入社。マイクロソフト製品すべてを扱う唯一の日本人エバンジェリスト(伝道師)として活動し、13年日経BP社から世界を元気にする100人に選出される。14年より現職。メディア出演に、レギュラーラジオ番組 TOKYO FM「エバンジェリストスクール!」(乃木坂46とMC)、TBS「御朱印ジャパン」、TBSトロンレース解説員、ベストセラー「プレゼンは目線で決まる」(ダイヤモンド社)、エバンジェリスト養成講座(翔泳社)など

- (他のテーマ) ■ AI 最前線
■ 生成AIの最前線、大きな可能性とリスクを理解し活用する術

■ 講師陣 (敬称略)



講演料: B

著書がドラマ化 NHKドラマ10「マチ工場のオンナ」

● 経営危機突破の原動力とモノづくり人材育成の極意

諏訪 貴子

ダイヤ精機株式会社 代表取締役

1971年東京都大田区生まれ。95年、成蹊大学工学部卒業後、自動車部品メーカーのユニシアジェックス(現・日立Astemo)入社。2004年、父の急逝にともない、32歳の専業主婦からダイヤ精機の2代目社長に就任。その後、10年でダイヤ精機をマスコミ等で度々取り上げられるほどの優良企業に変革させた。新しい社風を構築、堅実な経営を維持している。08年経済産業省「IT経営実践企業」に認定。育児と経営を両立させる若手女性経営者として日経BP社Woman of year 2013 大賞(リーダー部門)受賞。著書に「町工場の娘～主婦から社長になった2代目社長の10年戦争」。

- (他のテーマ) ・ 町工場発! 二代目の経営改革と人材育成
 ・ 中小企業が生き抜くための経営改革と人材育成



講演料: B

ビジネス環境の変化をどう捉え経営に活かすか 日本テレビ系「シューイチ」コメンテーター

● 成功事例に学ぶイノベーションを起こす企業の条件

渋谷 和宏

経済ジャーナリスト・作家

1959年横浜生まれ。84年日経BP社入社。日経ビジネス編集部、日経エンタテインメント編集部、出版局編集を経て、日経ビジネス編集部の副編集長としてのデスク業務と並行して、別冊ムック企画を担当。2001年から日経ビジネスアソシエ開発を兼務し、02年4月に創刊、編集長に就任。日経ベンチャー、日経エコロジー等、ビジネス局長時に日経ビジネス、日経ビジネスアソシエ等の発行人、統合コンテンツ局長時に日経BPネットの発行人等を務める。14年に独立。執筆、講演や日本テレビ系「シューイチ」コメンテーター、TBSラジオ「渋谷和宏・ヒト」パーソナリティ、BS-TBS「まるわかり! 日曜 ニュース深堀」メインキャスターとして活躍中。

- (他のテーマ) ・ これから注目されるビジネスとは
 ・ 日本経済の行方～輝く組織・輝く人とは



講演料: B

カル・リプケン小学生世界大会の日本代表、星野ジャパンの監督に5年連続で就任

● 個の能力・可能性の伸ばし方

～イチロー、田中将大との出会いを通じて

奥村 幸治

ベースボールスピリッツ代表・プロゴルファー

イチロー選手が210安打達成時に専属打撃投手を務めていたことから「イチローの恋人」としてマスコミに紹介され、話題に。中学軟式野球チーム(宝塚ボーイズ)を結成し監督を務める一方、各地で講演活動をする。宝塚ボーイズの教え子に田中将大、下村海翔がいる。2008年NPO法人ベースボールスピリッツ設立。野球を通じ子供達の健全な心身の成長を図ると共に幅広い世代交流、地域交流に努める。カル・リプケン小学生世界大会の日本代表、星野ジャパン監督として5年連続就任。13年に3年連続世界一達成。22年日本創造教育研究所顧問就任。23年NPO法人ベースボールスピリッツ解散、宝塚ボーイズ解団。その後、講演講師、研修講師、野球教室開催などの活動を開始。

- (他のテーマ) ・ 一流の習慣術～イチローに学んだこと、マー君に教えたこと
 ・ 目標達成のための心・技・体～イチローの原点を知る男 田中将大を育てた男一流選手



講演料: B

科学のホントの基本をe知るだけで、あなたの頭は柔らかくなる!?

● 科学が変わる 技術が変わる ビジネスが変わる

竹内 薫

サイエンス作家

1960年東京生まれ。東京大学教養学科・物理学科卒業。マギル大学院博士課程修了。理学博士。大学院修了後、サイエンスライターとして活動。物理学解説書や科学評論を中心に100冊あまりの著作物発刊。06年「99.9%は仮説～思い込みで判断しないための考え方」が40万部超のベストセラーに。物理・数学・脳・宇宙など幅広い科学ジャンルで発信を続け、執筆、TV、ラジオ、講演など精力的に活動。日頃縛られることの多い思い込み、常識、前例、先入観、固定観念などの慣例や見方を少し変えるだけでビジネスや人生に役立つヒント満載。

- (他のテーマ) ・ AI と共存する未来
 ・ フェイクニュース時代の科学リテラシー



講演料: B

NHK朝ドラ「あんぱん」落語家「立川談楽」役(師匠 立川談志さんをモチーフ)で出演

● 落語に学ぶ「弱くても勝てる」人生の作法

～なぜ与太郎は頭のいい人より上手いくのか～

立川 談慶

落語家

1965年長野県上田市出身。1988年慶應義塾大学経済学部卒業後、(株)ワコールに入社。誰もが羨むエリートコースを捨て、91年立川談志18番目の弟子として入門。00年12月二つ目昇進。談志により、『立川談慶』と命名さる。05年4月真打ちに昇進。06年より、毎月、独演会「談慶支援(ダンケーション)の会」開催中(浅草大黒家)、落語史上初「インターネット番組」での25時間落語「完走」。07年、住友生命チャリティコンサートにて、落語史上初サントリーホール(大ホール=2000人)での公演達成。落語家としての活動以外にも三冊の本を出版し、すべて重版というベストセラー作家。テレビ寺子屋やラジオ講座の講師も務める。コミュニケーション指導の第一人者。

- (他のテーマ) ・ 落語に学ぶビジネスと生き方
 ・ 慶大卒の落語家が教える会う人すべての心に残る「人たらしの流儀」